

## 診療科の紹介 循環器科

### 循環器科部長

**吉玉 隆**

(よしたま たかし)

#### 略歴

医学博士

日本循環器学会認定循環器専門医

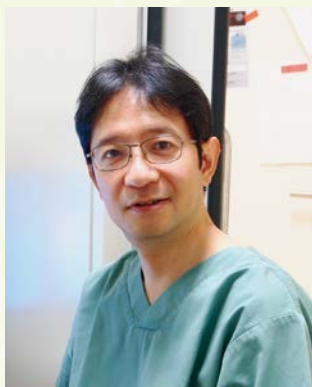
日本内科学会認定総合内科専門医

平成27年4月1日付けで東京労災病院循環器科部長を拝命いたしました。鹿児島大学医学部を卒業し今年で25年になります。平成16年からは東邦大学医療センター大橋病院に入局し、カテーテルインターベンションを中心に研鑽を積んで参りました。これまでの経験を生かして、循環器科として幅広く対応できるような体制を作っていこうと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



### 循環器科では…

ご存知のとおり、当科では虚血性心疾患(心筋梗塞や狭心症など)、心不全、不整脈、閉塞性動脈硬化症などが主な対象疾患です。5名のスタッフがそれぞれの専門性を生かしながら、忙しく外来、検査、治療、病棟管理を頑張っております。スタッフの紹介をしながら、我々の日々の診療を通して循環器疾患の説明をしたいと思っております。



## 第二循環器科部長

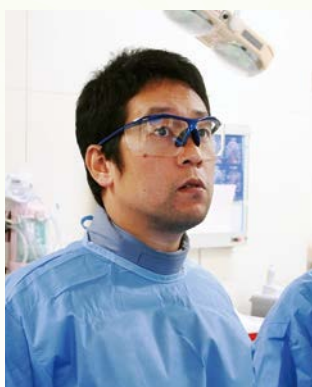
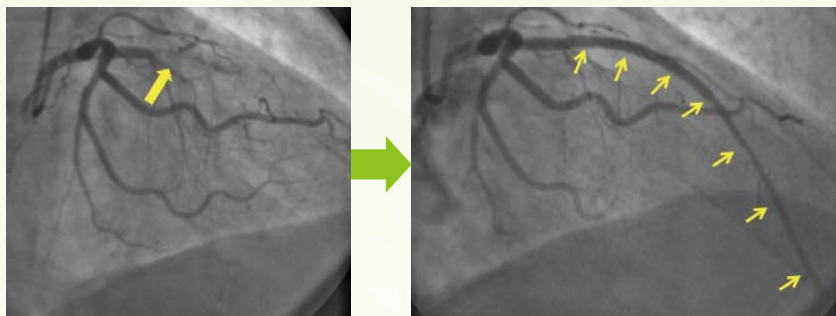
### 浅原 敏之

(あさはら としゆき)

当院の循環器科を16年にわたって支えています。冠動脈カテーテルインターベンションの中心的存在で、若手の指導にも熱心です。

#### 【他院からの紹介症例】

左前下行枝の慢性完全閉塞に対するインターベンション成功例。



## 循環器科副部長

### 宇都宮 誠

(うつのみや まこと)

傷のケアセンター副センター長も兼任しています。閉塞性動脈硬化症に対するカテーテル治療の中心的存在で、明るい性格の人柄で周囲を和ませてくれます。

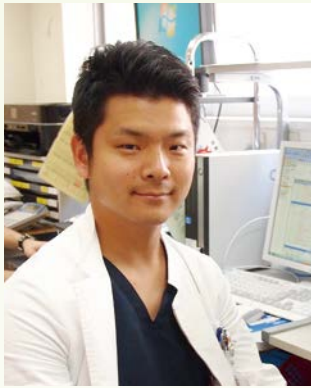


左側は左下肢、前足部の壊疽。右側は右下肢、踵部の壊疽。カテーテル治療を含めた集学的治療によって一部切断にはなりましたが足部の温存に成功しました。



(左)左下肢浅大腿動脈の閉塞病変  
 (中)バルーン拡張  
 (右)良好な拡張が得られました。

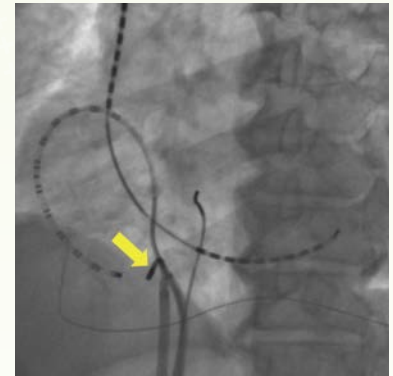
近年ではカテーテル治療によって  
 血管再建が可能となっています。



## 伊藤 尚志

(いとう なおし)

不整脈の診断、治療の中心的存在です。心房細動は行っておりませんが、発作性上室性頻拍症や心房粗動に対するアブレーションおよびペースメーカーの植え込みをしています。



心房粗動に対するアブレーションの様子。  
 矢印:アブレーションカテの先端



## 山下 雄司

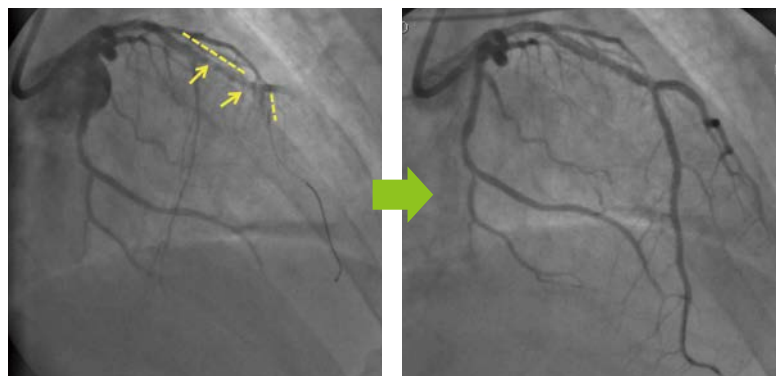
(やました ゆうじ)

平成27年4月に赴任してきた、当科きっての若手のホープです。救急患者に対するフットワークは抜群で大きな戦力になっています。今後はカテーテルインターベンションを中心に研鑽を積んで行く予定です。

### 【他院からの紹介症例】

遅発性ステント血栓症による急性心筋梗塞症例。  
 緊急カテを行い再還流に成功した。

(左)点線:以前植え込まれたステントの場所、矢印:血栓像  
 (右)再還流後造影



外来では心電図やレントゲン、採血など、基本的な検査に加えて、心エコーによる心機能評価、脈波伝播速度による動脈硬化の評価、ホルター心電図による不整脈の評価を積極的に行っております。特に、近年増加傾向にある虚血性心疾患に対しては、トレッドミル運動負荷心電図や心臓核医学に加えて、CTで冠動脈を直接評価することとしております。入院が必要と判断された場合には、心臓カテーテル検査や下肢動脈造影、心臓電気生理学検査を行い、十分な説明のもと積極的に治療を行っております。

2014年の実績としては、心エコー検査2,703件(うち経食道心エコー32件)、心臓カテーテル検査333件、冠動脈インターベンション114件、末梢血管インターベンション124件、心臓電気生理学検査1件、ペースメーカー植え込み術31件、アブレーション7件です。また、冠動脈バイパス術が必要な虚血性心疾患や、急性大動脈解離で外科的な治療が必要なケースにおいては、近隣の心臓血管外科のある施設と連携をとって対応しております。

地域の皆様に、安心して任せいただけるよう確かな信頼を得るべく、今後も一生懸命に頑張ってお参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 平成26年度 救急医療業務 功労者表彰について

大田区救急業務連絡協議会より、平成26年度救急医療業務功労者として消化器内科副部長 平野直樹医師が表彰されました。

今後とも当院では、地域医療に貢献できる病院を目指し、職員一同、救急医療業務に努めてまいります。

